



避難訓練を実施しました(3月12日)



消火器の説明



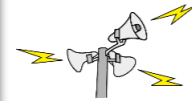
はしごからも避難



ハンカチで口を覆い低い姿勢で避難!



2月の同好会代表者会議でも消火器について学習しました



今月のだんごサークル

4月9日(火)・23日(火)
時間: 10:00~ 場所: 巖公民館

おともだち大募集中!



3月お別れ会の様子

「いきいき健康ライフ教室」参加者募集!

- 対象者 40~64歳の方で、昨年度の健康診断で脂質・血圧・血糖値・肥満のいずれかが要指導だった方
- 募集人数 35人程度(申込多数の場合は、初めての方優先)
- とき 5/13・20、6/3・24、7/1・22、8/26、9/9・30、10/21(すべて月曜日)の10回シリーズ
午後1時30分から3時30分まで
- ところ 保健センター(ふれあいの里)
- 内容 体力測定、ウォーキング・ストレッチ体操・エアロビクス等の実技、個別の運動・栄養処方、健康講義等
- 参加費 無料
- 申込方法 4月15日(月)までに、健康対策課(TEL23-5458、FAX23-5460)にお申し込みください。

米子市優良子ども会表彰式

(3月9日於米子児童文化センター)

平成30年度米子市優良子ども会として「浦津子ども会」が表彰されました。おめでとうございます!

(鳥取県地名辞典 能登路定男 資料より)
つづく
熊党 能登路尚孝

いわざを知らう

熊党について ①

熊党村(現 米子市熊党)

浦木村の北にあり、北は日吉津村(現 日吉津村)。天正19年(1591)12月20日の伊勢大神宮神田注文(蚊屋島神社文書)には、大神宮(現 日吉津村蚊屋島神社)神田作人として「くまノ当甚五郎」などの名がみえる。村名は熊ノ藤とも(天保15年「蚊屋島神社社帳」同文書)、熊堂とも記され(伯耆志)、正保国絵図では熊藤村とみえる。古代末期能登国から信濃国を経て出雲国簸川郡塩谷(現 島根県出雲市)に移った熊ノ藤五郎左衛門が、さらに会見郡山市場へと移り、戦いに敗れたのち、17名が当地に逃れて土着、村名を熊藤と改めたと伝える。「樋口藤原家伝承記」能登路家文書)。拝領高287石余は元禄・天保両郷帳でも変化なく、日野川氾濫の影響であろう。本免は四ツ九分。幕末の六郡郷生高竈付では生高410石余、竈数33、「伯耆志」では家数31、人数163、社倉が設けられていた。「藪役銀4匁3分・川役銀36匁・浦役銀110匁を納めていた」(藩史)

ベトナムを知らう

今春開校予定の日本語学校(米子松蔭高校内)にベトナムから数名の生徒さんが入学されます。そこで、地域の皆さんもベトナムについて学び、理解を深めましょう!



あいさつは?

朝でも昼でも夜でも **xin chao(シンチャオ)**

日本とベトナムの時差は?

日本との時差は約2時間、ベトナムは2時間遅れ。日本が午前9時の場合、ベトナムでは午前7時。

ベトナムの食べ物について

中国文化やフランス文化などの影響を受けており、あまりクセがなく食べやすく、日本ではフォーや生春巻きが有名。

ベトナムの気候は?

北部のハノイと南部のホーチミンとでは気候が異なる。ハノイには四季があるが、ホーチミンはとても温暖。

ベトナムの物価は?

概ね日本の10分の1くらいの物価。通貨はベトナムドン(VND)。

出典:海外進出.JP
<http://kaigaishinshutsu.jp/tour.html> 最終閲覧2019年3月19日

5月の主な予定

- 12日(日) 地区グラウンドゴルフ・ペタンク大会
- 16日(木) 第2回いわお塾

職員不在のお知らせ

4月27日(土)から5月6日(月)は、新天皇陛下の即位や改元のため、5月9日(木)午後からは、南部地区公民館連絡協議会総会に職員出席のため、事務室は不在となります。部屋は使用できますので、事前申込みの上カギを借用してください。

臨時つれづれぐさ



卒業式雑感

民生児童委員 塚田安雄

まず、3月1日の米子松蔭高の卒業式。「仰げば尊しわが師の恩♪♪」が聞けるのはここだけだと思います。毎年のことですが、生徒諸君がしっかり声を出していたのが嬉しい限りでした。もう一つは19日の箕蚊屋小学校。一人ずつゆっくりと式場である体育館に入場する6年生の顔がずいぶん大人びて感じられました。そして全員入場して気がついたのは、袴(はかま)姿が一人もいないことでした。男子も女子も落ち着いた色の服装で、卒業印の胸の赤リボンが映えていて、とても爽やかで私はたいへん好ましく思いました。平成26年から袴姿が見え始め、その数は5→9→3→5→7と推移してきました(私の日記から)が、今年はゼロでした。

保護者の意向もあるので、事の是非を言うつもりはありません。ただ金銭的負担がかさむこの時期ですので、たった一日のために礼服を準備しなくても、一昔前のように、既に購入している中学校制服を着用できればもっといいなあ、と個人的には思っています。

何はともあれ、それぞれの子どもたちが未来への希望に胸をふくらませるに足る明るい社会環境をつくってあげることが何より大切です。「子どもは地域の宝」とよく言いますが、それをスローガンだけに終わらせないよう、大人がその役割をもっと認識して行動すべきだと思うのですが。